

令和8年度第2回経営協議会議事要録

日 時： 令和8年6月18日（木） 14：25 ～ 16：21

場 所： 熊本大学本部棟1階 大会議室（オンライン併用）

出席者： 小川 久雄、富澤 一仁、大谷 順、水元 豊文、高橋 浩之、井上 賢一、
平井 俊範、秋池 玲子、笠原 慶久、久我 彰登、倉津 純一、倉光 麻里子、
小山 薫堂、竹内 信義、田中 稔彦、中山 泰宗、本松 賢

欠席者： 永田 佳子

陪 席： 宮尾 千加子、渡辺 啓子、佐藤 敏郎

○ 新任委員の紹介

議長から、参考資料に基づき、新任委員の紹介があった。

議 題

1. 第4期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について

議長から、第4期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について審議願いたい旨提案があった。

次いで富澤理事から、資料1に基づき、内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

また、今後の軽微な変更等については、学長及び富澤理事に一任することが合わせて了承された。

2. 令和7事業年度決算について

議長から、国立大学法人法に基づき、財務諸表等を文部科学大臣に提出する必要があるため、令和7事業年度熊本大学財務諸表（案）等について審議願いたい旨提案があった。

次いで井上理事から、資料2-1～2-4に基づき、財務諸表（案）等の内容について説明があった後、追加資料1-1・1-2に基づき、監査結果について報告があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、議長から、本件は役員会に付議する旨付言があった。

3. 令和9年度概算要求事項について

議長から、令和9年度概算要求（案）について審議願いたい旨提案があった。

次いで井上理事から、資料3に基づき、令和9年度概算要求において計画している要求事項等

について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

また、今後文部科学省との協議による概算要求（案）の変更等については学長一任とすることが併せて了承された。

4. 授業料の改定について

議長から、令和9年度から授業料を改定することについて審議願いたい旨提案があった。

次いで、井上理事から、資料4及び追加資料2に基づき、授業料改定の方針等について、説明があった後、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、議長から、本件は役員会に付議する旨付言があった。

（意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等）

- ◇ 教育の質の維持・向上や優秀な教職員の確保のためには、物価上昇に合わせた授業料の改定は妥当であり賛成である。一方で、経済的に困窮している学生への授業料減免措置や、優秀な学生に対する奨学金制度の充実などを同時に整備していくことが、実質的な学びの保障として極めて重要である。
- ◇ 授業料の改定に対するメディアや世間の反応を危惧している。授業料の改定への反対運動について、大学としてどのように受け止めているか。
- ◆ インターネットでの署名活動については、検討する際の情報として確認している。また、国会質問の中で、本学の授業料の改定について触れられたが、文部科学省とは情報を共有して連携を取っている。

報告連絡

1. 第4期中期目標・中期計画達成に向けた令和7年度の実績報告について

富澤理事から、資料5に基づき、第4期中期目標・中期計画達成に向けた令和7年度の実績報告について報告があった後、種々意見交換が行われた。

（意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等）

- ◇ 資料5に限らず、会議資料が膨大かつ詳細なため、内容の理解が困難である。議題ごとに資料の枚数の制限や資料の作り方にルールを定め、説明資料を簡潔にしてほしい。
- ◆ 現在の会議資料の形式を改めたい。
- ◇ 過去の目標に基づくKPI分析も重要であるが、今後は、医学分野を中心にデータ化が求められるため、急速な変化に対応できるように近未来を予測した新しいアプローチへの意識が必要である。
例えば、くまもとメディカルネットワークのような時代を先取りした取り組みは今後大きな価値を生み出すものであると期待している。
- ◆ 貴重なご意見に感謝したい。
- ◇ 研修医の都心部への流出問題に対応するため、熊本大学ならではの研究や学びの楽しさ、魅力をより強く若い世代に宣伝していくことが重要である。
- ◇ 地域医療を支える医師の確保が厳しい状況にあるが、ほかの地方国立大学における好事例はあるか。

- ◆ 医師の確保については、九州の他大学でも同様に減少傾向であり、平成16年度に始まった初期研修医制度から見直していく必要があると考える。
- ◆ これまでも初期研修医制度の是正について、各所に働きかけている。また、本学から優秀な人材を輩出しているという実績を学生に伝えていくなど意識改革を進めていきたい。
- ◇ 医学部が福岡県に集中している現状を踏まえると、福岡県から若手医師をどのように連れてくるかが重要であり、熊本県と一体となり取り組んでいく必要がある。

2. 令和7年度資金運用報告及び令和8年度資金運用について

井上理事から、資料6に基づき、令和7年度資金運用結果及び令和8年度資金運用計画について報告があった。

3. 「国立大学法人等改革基本方針」に係る取組の方向性等について

議長から、国立大学法人等改革基本方針を踏まえた本学の取組の方向性等に関する調書について、3月19日に開催の本会議にて報告した内容を一部修正し、それに基づき6月3日に文部科学省とのヒアリング・意見交換が実施された旨報告があった。

次いで富澤理事から、資料7に基づき、調書の概要等について説明があった。

4. 国立大学法人熊本大学大学評価会議による自己点検・評価の結果について

富澤理事から、資料8に基づき、令和7年度に実施した国立大学法人熊本大学大学評価会議による自己点検・評価の結果について報告があった。

5. 国立大学法人熊本大学自己点検・評価の外部評価委員会による本学の自己点検・評価の外部評価の結果について

富澤理事から、資料9に基づき、令和7年度に実施された国立大学法人熊本大学大学評価会議の外部評価委員会による本学の自己点検・評価の外部評価の結果について報告があった。

6. 令和7年度監事監査に関する報告書について

渡辺監事から、資料10に基づき、令和7年度監事監査に関する報告書について説明があった。

7. 令和8年度主要行事予定について

議長から、資料11に基づき、令和8年度の本学の主要行事予定について報告があった。

8. 令和8年度経営協議会開催日等について

議長から、資料12に基づき、令和8年度の本会議の開催日等について報告があった。

メールによる報告連絡

1. 共同研究講座の更新について

産業ナノマテリアル研究所「ワнтаイムエナジー共同研究講座」の設置期間更新の報告

以 上

○ 次回開催：令和8年11月19日（木）

<配布資料>

参考資料	国立大学法人熊本大学経営協議会名簿 ほか
資料 1	令和4～7年度計画に関する主な取組み ほか
資料 2－1	財務諸表の要旨
資料 2－2	令和6事業年度財務諸表（案）
資料 2－3	令和6事業年度事業報告書（案）
資料 2－4	令和6事業年度決算報告書（案）
資料 3	令和9年度熊本大学概算要求事項（案）
資料 4	授業料改定案について
資料 5	令和7年度に係る主な取組 ほか
資料 6	令和7年度資金運用報告 ほか
資料 7	「国立大学法人等改革基本方針」に係る取組の方向性等について
資料 8	国立大学法人熊本大学大学評価会議による自己点検・評価結果報告書
資料 9	国立大学法人熊本大学自己点検・評価結果の外部評価委員会による国立大学法人熊本大学の自己点検・評価の体制・プロセスの検証・評価結果報告書
資料 10	令和7年度監事監査に関する報告書について
資料 11	令和8年度主要行事予定
資料 12	令和8年度経営協議会開催日等
資料 13	共同研究分野の更新について ほか
追加資料 1－1	監事の監査報告書
追加資料 1－2	独立監査人の監査報告書
追加資料 2	令和9年度からの授業料（案）